

土砂くずれの話

平間 整

きよ年の冬、ぼくは、じどう館で、おかあさん
のまむかえをまていました。なかなか来な
いので、
「お母さん、おそいなあ。」
と、田んぼをまわると、お母さんがまむかえに
まました。
「おそくちよてぶめんあ。高速道路が土砂く
ずれて、道が通行止めだ。たの。」

と、お母さんが言いました。
「おへんだ。たの。」
と、ぼくは、思いました。
「ぼくが、おじいちゃんの家に行くとき、
高速道路は、山をけずてつくっています。
だから、雨が地しんでくずれば、すいのです。
ぼくは、山が大すきです。それは、山を見
ると、心がほるとするからです。あと、山の形
が色々あして、いろいろな形になつたの
かを考えるのがおもしろいからです。」

でも、きけんがとるも、いっほいありま
す。たとえば、土砂くずれや火山のふん火な
どです。大雨で土石流やかけくずれがおきる
と、家が下じきになつたりながされたりしま
す。コンクリートがぬれるくらい強い力で
土砂くずれは雨がたまつた後でもおきるこ
とがあるのだけれど、たいしてはいけません。それ
は雨で土や石がすべつたりころかりおすくな
るからです。

ほくは、この夏、青森けんに行つて、これ
で大雨にありました。川の流れが速くなつて
道がこわれそうでした。わかつたです。

車がぬけるかも
と思つておつときんちようして出まわつて
も、帰りにほ暗れて、大好きな岩木山も見え
ました。

ほくは山が好きなので、ほかの県やほかの
国の山も見てみたいです。そのときは、天気
に気をつけて活動していきたいと思います。